

# 令和3年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(株) 札幌花き地方卸売市場	所管課	経済観光局国際経済戦略室経済戦略推進課
基本財産	470,000千円	記入者	担当 吉田   電話 011-211-2481
設立年月日	昭和55年(1980年) 2月18日	本市出資額	236,000千円 (出資割合 50.2%)
設立・出資目的	花き取引について、その適正かつ健全な運営を確保することにより、花き等の生産および流通の円滑化を図り、もって市民生活の安定に資するとともに、関係業界の発展に寄与することを目的としている。	出資年月日	昭和55年(1980年) 1月11日
沿革	昭和56年	沿革	国・道の卸売市場整備計画に基づき、市内に分散していた3つの民間花き卸売市場を移転統合し、新たに札幌流通圏を中心に拠点市場として開設された。
代表者	代表取締役社長(非常勤) 石川 敏也(副市長)		
主な出資者	① 札幌市 (50.2%) ② 札幌花き園芸(株) (40.5%) ③ 北海道植物(株) (4.7%) ④ (株)北海道銀行 (4.0%) ⑤ はまなす花き(株) (0.6%) ⑥		
団体所在地	〒003-0030 札幌市白石区流通センター7丁目3番5号		電話 011-892-1432

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]
① 花き卸売市場等の開設・管理・運営および花き業界の振興、需要喚起に資する事業 (6ページ)	
当市場の運営事業等を継続することにより、花き等の生産および流通の円滑化が図られ、市民等へ良質な花きが供給されるとともに、花きに関係する地場中小企業の振興に貢献してきている。	
(2) 総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 132,832千円 ÷ 総支出 132,832千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	当市場の花き取扱額は、道内花き地方卸売市場の取扱額の6割を超えるシェアを有しており、産地と消費者をつなぐ流通拠点として重要な役割を担っている。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	市場の管理運営等の業務を着実に実施し、道内花きの流通拠点としての役割を果たしているほか、市場関係者とともに花きの需要拡大、花き産業の振興に向けた取組みを実施し市場活性化に努めている。

## 3 団体職員・構成員等

令和3年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成	役員任期	
役員					8	10歳代 0	40歳代 1	
常勤取締役	1	0	0	0		20歳代 0	50歳代 1	
常勤監査役	0	0	0	0		30歳代 0	60歳代 0	
非常勤取締役			5			平均年齢 47.5 歳		代表権のある役員 の就任年月
非常勤監査役			2			取締役	R1.6	
職員					6		監査役	R1.6
常勤管理職	1	0	0	0		職員総数の推移(人)		
常勤一般職	0	0	2	0		H31.4.1時点	7	
非常勤職員			3			R02.4.1時点	7	

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R1年度決算	R2年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	122,517	127,195 (100.0%) (+4,678)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	120,729	119,733 (▲996)
			営業費用 (b)	123,260	132,832 (+9,572)
			うち販売費・一般管理費 (c)	84,520	95,435 (75.0%) (+10,915)
			うち人件費 (d)	38,740	37,397 (29.4%) (▲1,343)
			営業利益 (e)	▲2,531	▲13,099 (▲10,568)
	営業外	営業外収益 (f)	1,788	7,462 (+5,674)	
		当期純利益 (g)	▲1,159	▲6,038 (▲4,879)	
	貸借対照表	資産 (h)	692,659	728,892 (+36,233)	
		流動資産 (i)	237,128	252,097 (+14,969)	
固定資産 (j)		455,531	476,795 (+21,264)		
負債 (k)		95,668	137,939 (+42,271)		
流動負債 (l)		53,584	73,294 (+19,710)		
固定負債 (m)		42,084	64,645 (+22,561)		
純資産 (n)		596,990	590,952 (▲6,038)		
資本金 (o)		470,000	470,000 (0)		
	借入金残高 (p)	0	0 (0)		

#### R2年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
(a)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、花関連のイベントや式典等が相次いで中止になったことに伴い、花の販売機会が失われたため市場取扱高が減少し、売上高(a)は前年度から996千円減の119,733千円となった。
(c, e)	市場施設の保全に係る改修工事等を実施したことにより一般管理費(c)が10,915千円増加し、営業利益(e)は13,099千円の赤字となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R1年度決算	R2年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R1年度	R2年度	(前年比)	評価基準	備考	
(1)健全性	剰余金(n-o)	126,990	120,952	(▲6,038)	前年比較増	正味財産-基本財産	
	自己資本比率(n÷h)	86.2%	81.1%	(▲5.1%)	≥50%	正味財産÷資産	
	流動比率(i÷l)	442.5%	344.0%	(▲98.6%)	≥150%	流動資産÷流動負債	
	固定比率(j÷n)	76.3%	80.7%	(+4.4%)	≤100%	固定資産÷正味財産	
	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産	
(2)生産性	職員一人当り経常収益	17,502千円	18,171千円	(+668千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数	
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	32.1%	31.2%	(▲0.9%)	前年比較減	人件費÷経常収益	
	職員一人当り管理費	12,074千円	13,634千円	(+1,559千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数	
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	70.0%	79.7%	(+9.7%)	前年比較減	管理費等÷経常収益	
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益	
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益	
健全性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い					
理由	経常収益の増加により、職員一人当りの経常収益は増加している一方、施設改修や保全に関する費用が増加したことより、職員一人当りの管理費も増加している。当期純利益については、一般管理費の増加により、前年度比4,879千円の赤字増となっているが、債務超過、累積欠損がなく、自己資本比率・流動比率・固定比率とも望ましい水準にあり、健全性も非常に高く、本市から財政的関与が無い自立した経営を行っている。						

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の総括評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況と集中取組期間の総括評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○出資の継続							
①	市出資金	目標	236,000千円	236,000千円	236,000千円	236,000千円	236,000千円
		実績	236,000千円	236,000千円	236,000千円	236,000千円	236,000千円
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	当市場は道内の花き流通拠点としての公共的役割を果たしており、市場運営の維持・安定化を図る必要があるため、市が株主として団体の経営に積極的に関与できる現在の出資割合を引き続き維持していく。						

### (2)人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○必要な人的関与の継続							
①	本市職員の役員就任数	目標	2名	2名	2名	2名	2名
		実績	2名	2名	2名	2名	2名
②	本市職員の派遣数	目標	0名	0名	0名	0名	0名
		実績	0名	0名	0名	0名	0名
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	本市職員の派遣は行わず、必要最低限の職員が役員に就任し、当団体への関与を継続している。						

### (3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○花きの需要喚起に資するイベントの開催							
①	花き需要喚起に向けた事業数	目標	20	20	20	20	20
		実績	20	20	20	20	6
②	花き市場まつりの来場者数	目標	3,600人	3,700人	3,800人	3,900人	4,000人
		実績	3,500人	3,500人	3,800人	3,500人	3,200人
○総括評価							
		未達成					
		【取組結果】					
評価	新型コロナウイルスの感染拡大により、「花き市場まつり」等の主要なイベントが中止となったが、「お花消費拡大キャンペーン」等のイベントの開催や花のPRなど、関連団体と連携して花きの需要喚起に取り組んでいるところであり、今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を考慮したうえで、創意工夫して花きの需要喚起に継続して取り組むことが必要である。						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○情報発信機能の強化							
①	ホームページアクセス数	目標	36,000件	37,000件	38,000件	39,000件	40,000件
		実績	35,836件	37,904件	31,476件	35,593件	39,588件
②	年間市場取引額	目標	8,757,000千円	8,775,000千円	8,793,000千円	8,811,000千円	8,829,000千円
		実績	8,739,385千円	8,389,262千円	8,048,600千円	7,778,009千円	7,408,056千円
○総括評価							
		未達成					
		【取組結果】					
評価	ホームページアクセス数について、前年度と比較すると減少しているが、「お花消費拡大キャンペーン」を実施した8月は、前年同月と比較して大幅な増となったことから、「花き市場まつり」等のイベント中止等の影響によりアクセス数が減少したものと考えられる。 また、当市場は道内花き地方卸売市場の取扱額の6割超を占め、産地と実需者をつなぐ流通の要として重要な役割を果たしているが、年間市場取引額は前年度比3.0%減、取引数量は前年度比4.7%減となっている。コロナ禍による花関連イベントの中止等の影響を受けたものの、いわゆる「巣ごもり需要」による鉢物を中心とした消費拡大効果から、取扱額の減少は最小限に留めることができた。今後については、卸売会社、仲卸会社等の市場関係者と連携しながら、継続して取引額等の増加対策を実施していくとともに、花きの需要喚起等に向けた魅力ある情報発信が必要である。						

### (5) 団体統制

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○本市職員の取締役就任（再掲）							
①	本市職員の役員就任数	目標	2名	2名	2名	2名	2名
		実績	2名	2名	2名	2名	2名
○総括評価							
		達成					
		【取組結果】					
評価	本市から必要最低限の職員が役員に就任し、当団体への関与を継続している。						

### (6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○障がいのある方の自立支援							
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数	目標	1	2	2	3	3
		実績	0	0	0	2	3
○総括評価							
		未達成					
		【取組結果】					
評価	敷地内の草刈り業務について障害者就労支援施設に委託した。「花き市場まつり」のPRチラシとポスターの作成等についても委託する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりイベントを中止したため、委託数は対前年比2件減となった。						

## 8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	<a href="http://www.sap-hanashiiyo.co.jp/">http://www.sap-hanashiiyo.co.jp/</a>
Eメールアドレス	
<p>【経営状況等】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 定款                    <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿                    <input type="checkbox"/> 団体機構図                    <input type="checkbox"/> 事業計画書                    <input type="checkbox"/> 予算書  <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書                    <input checked="" type="checkbox"/> 決算書                    <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画         </p> <p>【事業情報等】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報                    <input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報  <input checked="" type="checkbox"/> その他（花きの取扱情報、開市日のカレンダー）         </p>	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：	<p>パンフレットの作成・配布のほか、市民、生産者団体、農業高校、専門学校などの市場見学の受入れ(随時)、「花き市場まつり」等のイベント開催に向けたチラシやポスターの作成及び公共施設等への配布、その他市民向けのイベント実施において新聞、テレビ等のメディアの活用などにより、当市場のPRや花きの魅力発信等に取り組んでいるところであるが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、「花き市場まつり」を中止したほか、市場見学受入れ等もできなかったため、情報発信機会は一部縮小したが、「お花消費拡大キャンペーン」の実施に伴い、SNS(インスタグラム)によるあらたな情報発信の取組を開始した。</p>

※特記ない限り、本評価シート情報は令和3年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) 花き卸売市場の開設・管理・運営および花き業界の振興、需要喚起に資する事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局国際経済戦略室経済戦略推進課	担当： 吉田	電話： 011-211-2481
(1)事業内容	<p>・卸売市場法（昭和46年4月3日法律第35号）に基づいて計画的に整備された地方卸売市場の開設、管理、運営および市場の関連機能として、花き関連商品売場を設置し、その管理を行っている。</p> <p>また、花き業界全体の振興、需要喚起のため、市場を中心とした関係団体で組織する北海道花き振興委員会の事務局（会長は当社専務取締役）を担当し、切花と鉢物の品評会、展示会や鉢花即売会を実施している。さらに、札幌お花消費拡大キャンペーンのほか、花き関連事業者との連携によるさっぽろ花き市場まつり等の開催や、北海道フラワーウォーク、SAPPOROフラワーカーペット等のイベントを主催する他団体との協力・連携等、花きの振興・需要喚起に資する事業を実施している。</p> <p>【市の関連事業名】</p> <p>・花き消費拡大支援事業</p>		
(2)事業目的	市場関係事業者間の花き取引について、その適正かつ健全な運営を確保することにより、花き等の生産および流通の円滑化を図り、もって市民生活の安定に資するとともに、関係業界の発展に寄与することを目的としている。		
(3)事業開始	昭和55年(1980年) 2月18日		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		122,517 ( 100.0 % )	127,195 ( 100.0 % )	( +4,678 )
	市補助金・交付金・負担金	0	0	( 0 )	
	市業務委託料	0	0	( 0 )	
	市指定管理費	0	0	( 0 )	
	市施設利用料金収入	0	0	( 0 )	
	自主事業収入 (補助金除く)	120,729	119,733	( ▲ 996 )	
	その他収入	1,788	7,462	( +5,674 )	
	費用 (支出)	123,260	132,832	( +9,572 )	
	事業費	1,305	6,923	( +5,618 )	
	管理費等	121,955	125,909	( +3,954 )	
	収支差	▲ 743	▲ 5,637	( ▲ 4,894 )	
	収支比率	99.40%	95.76%	( ▲ 3.64% )	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	花育等花き需要喚起に向けた事業数	20	20	6	10
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	市場における年間の取扱数量(単位:千本・千鉢)	91,494	100,000	87,194	90,000
②	市場における年間の取扱金額(単位:千円)	7,408,056	8,000,000	7,187,473	8,000,000
③	市場まつりの来場者数	3,200	3,500	-	3,500
④	鉢花即売会の来場者数	3,200	3,500	-	3,500
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>当市場における年間の取扱数量等は減少傾向にあるものの、当市場は卸売業者等の市場関係者と連携しながら、市場内における利用環境の向上等を図ったことにより、道内花き地方卸売市場の取扱額の6割超を占める結果となり、引き続き道内花き流通の円滑化、安定化に重要な役割を担っている。</p> <p>また、花き業界全体の振興、需要喚起のため、市民が花に親しみ花きの流通への理解を深めてもらうことを目的とした「花き市場まつり」や北海道花き振興委員会による「北海道花き品評会(切花・鉢花)」等の花きの需要喚起に資するイベントについては、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。今後については、卸売会社、仲卸会社等の市場関係者と連携しながら、コロナ禍における花の需要喚起に向けた取組を継続していくことが必要である。</p>
(2) 収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>令和2年度は前年度より売上高、取扱数量ともに減少したほか、市場施設の老朽化に伴う施設改修や保全に係る支出が増加したことに伴い、営業利益は赤字となった。今後、施設老朽化に伴う大規模修繕費等の増加に対応するため、引き続き収支改善に向けた取組を進める必要がある。</p>

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 252,096,698 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 73,294,207 】</b>
現金	80,000	未払金	13,921,386
預金	239,846,656	未払法人税等	290,000
仮払金	0	未払事業税	659,800
前払費用	4,785	未払消費税	582,500
未収入金	11,193,310	預り金	141,673
立替金	983,140	前受金	5,000
貸倒引当金	△ 11,193	精算代金預り金	56,434,316
		賞与引当金	1,259,532
<b>【固定資産】</b>	<b>【 476,794,625 】</b>	<b>【固定負債】</b>	<b>【 64,645,094 】</b>
(有形固定資産)	( 379,612,414 )	長期借入金	0
建物	114,040,143	預り保証金	61,650,000
構築物	491,555	退職給付引当金	2,995,094
工具器具備品	1,614,716		
土地	263,466,000	負債合計	137,939,301
(無形固定資産)	( 9,009,811 )	純資産の部	
ソフトウェア料	8,761,500	科目	金額
電話加入権	248,311	<b>【株主資本】</b>	<b>【 590,952,022 】</b>
		資本金	470,000,000
(投資その他の資産)	( 88,172,400 )	(利益剰余金)	( 120,952,022 )
投資有価証券	16,000,000	その他利益剰余金	120,952,022
保険積立金	22,400	別途積立金	40,000,000
取引保証積立金	57,150,000	繰越利益剰余金	80,952,022
修繕積立金	15,000,000		
		純資産合計	590,952,022
資産合計	728,891,323	負債・純資産合計	728,891,323

## 損 益 計 算 書

自令和2年4月1日  
至令和3年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
<b>【 売 上 高 】</b>		
施設賃貸収入	98,181,875	
売上高割使用料（卸）	39,531,082	
面積割使用料（卸）	39,465,864	
売上高割使用料（仲卸）	957,031	
関連店舗使用料	18,227,898	
精算業務収入	18,871,267	
駐車管理収入	2,680,000	119,733,142
売上総利益金額		119,733,142
<b>【販売費および一般管理費】</b>		132,832,437
営業損失金額		△ 13,099,295
<b>【 営 業 外 収 益 】</b>		
受取利息	3,900	
雑収入	7,458,174	7,462,074
経常損失金額		△ 5,637,221
<b>【 特 別 利 益 】</b>		
貸倒引当金戻入益	0	0
<b>【 特 別 損 失 】</b>		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純損失		△ 5,637,221
法人税、住民税及び事業税		400,863
当期純損失		△ 6,038,084